



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホームノテ幸栄の里	階数	4
建設地	豊平区月寒東1条13丁目28-23の内、31-3、-16	構造	RC造
用途地域	準工業地域、第一種住居地域	平均居住人員	129 人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2024年1月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	2,048 m ²	評価の実施日	2022年10月24日
建築面積	1,869 m ²	作成者	
延床面積	6,803 m ²	確認日	2022年11月1日
		確認者	

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★ A

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	79%
③上記+②以外のオンサイト手法	79%
④上記+オフサイト手法	79%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価
建物全体の[BEI][BEIm]= 0.75

2-5 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.5
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

機能性	3.8
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.5

生物環境	3.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.2
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	2.6
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>計画地は国道36号線に面し、地下鉄の駅からも近く交通量の多い場所となっております。建物前面に駐車スペースやテラスを設け、歩行者に圧迫感を与えない歩行空間の創出をし、魅力的な街並みと調和できるよう計画されています。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>照明器具をLEDとし消費電力の低減させます。又、建物の高断熱化・サッシの二重化により冷暖房の効率化を図ります。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>節水型便器の採用します。屋内に塵芥室を設け、廃棄物と再利用対象物を分け、資源を再利用出来るように努めます。</p>	<p>C 緑化</p> <p>道路境界線・隣地境界線に生け垣を設けると共に、新規樹木による緑化を行います。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>建物屋根は無落雪屋根とし、アプローチからポーチまで長めの庇を設置し、冬期間の利用しやすさに配慮した計画としました。</p>

4 ほかの認証・評価制度の利用

(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 特別養護老人ホーム/テ幸栄の里

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境					0.40		-	3.3
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル				-	-	3.0	0.40	
1.2 遮音				3.0	0.67	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.33	3.0	0.20	
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.71	3.0	0.50	
1 室温				-	-	3.0	0.57	
2 外皮性能	省エネ			3.0	0.40	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.60		-	
2.2 湿度制御				3.0	0.29	3.0	0.20	
2.3 空調方式				-	-	3.0	0.30	
3 光・視環境				3.4	0.25	3.8	1.00	3.5
3.1 昼光利用				4.2	0.35	4.2	0.30	
1 昼光率			共同生活室昼光率3.5、居室昼光率2.0	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.35	3.0	0.30	
1 昼光制御	省エネ			3.0	1.00	3.0	1.00	
2 映り込み対策					-		-	
3.3 照度				-	-	3.0	0.15	
3.4 照明制御			リモコンで照度を調整	3.0	0.29	5.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.63	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆以上を全面的に使用します。	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.38	3.3	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			居室は自然換気1/14以上確保しています。		-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-		-	
1 CO ₂ の監視					-		-	
2 喫煙の制御				-	-		-	

Q2 サービス性能			0.30	-	-	3.2	
1 機能性			3.7	0.40	4.2	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ			4.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性	居室(個室)12.80㎡以上です。		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応			-		-	
3	バリアフリー計画	バリアフリー新法・札幌市ふくしのまちづくり条例の必要項目全てに適合しています。	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.0	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)			-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-		-	
3	内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理			4.0	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計	内外装共に、防汚性・耐久性の高い仕上げ材を採用します。	5.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源 メンテナンスや使用方法、清掃等により耐久性が向上できる材料の使用します。	5.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性			3.0	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	2.2	0.50	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		建物全体壁長さ比0.24 居室壁長さ比0.22	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出	緑化		3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化	周辺との調和を意識し、道路境界線・隣地境界線に生け垣を設けました。	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雷処理	地域交流スペースを設け、地域の賑わいに貢献します。	4.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	高断熱仕様(BPIm=0.68)	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.75 -	4.0	0.50		-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング	省エネ			-		-	
4.2 運用管理体制	省エネ			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水型便器、擬音装置を採用します。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減	省資源		3.0	0.13		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		-	-		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.25		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	EVホール 点字シート	3.0	0.25		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		3.0	0.13		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	乾式間仕切り壁の使用により分別可能です。	4.0	0.25		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない接着剤の選定をしています。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		-	-	-	-	
3 冷媒	省資源		3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	省資源	ライフサイクルCO2排出率79%。	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 悪化 質処理		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		前面道路が混雑するため、駐車場入りロサインにより右折進入を禁止します。	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 質処理	ゴミ保管スペースは十分な大きさを確保し、衛生面に配慮した内装材・設備になっています。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を行う予定なし。	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	1.5	BEEランク	A
建物名称	特別養護老人ホーム/テ幸業の里				
建物用途	病院				
延床面積	6,803.4 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理 省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★★☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 24.5 最低点 6.8)		合計		18.4点 / 24.5点	
Q1 温熱環境	スコア	1.3 / 2.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0 / 4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.5 / 2.5	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 / 2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	8.0 / 10.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.4 / 4.0
B 省資源等 (最高点 23.5 最低点 7.7)		合計		15.3点 / 23.5点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.9 / 9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 / 1.7
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.8 / 5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.2 / 4.4
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		9.9点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.7 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 / 2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.8 / 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4 / 2.3			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		2.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 / 2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高**点は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低**点は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数